

Title	故高橋昭二教授 略歴、業績目録
Author(s)	
Citation	哲学論叢. 1985, 16, p. none
Version Type	VoR
URL	<a href="https://doi.org/10.18910/66829">https://doi.org/10.18910/66829</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

## 故高橋昭二教授 略歴

昭和二年一月二日 出生 大阪市

昭和十九年三月 甲陽中学卒業

昭和二十三年三月 甲南高等学校文科乙類卒業

昭和二十六年三月 京都大学文学部哲学科卒業

昭和二十六年六月 大阪大学文学部助手

昭和三十八年四月 大阪大学文学部講師

昭和三十九年十一月 大阪大学文学部助教授

昭和四十年四月 大阪大学大学院文学研究科哲学哲学史専攻を担当

昭和四十五年四月 大阪大学文学部教授 哲学哲学史第二講座を担当

昭和四十五年十月 関西哲学会委員

昭和四十六年三月 文学博士（大阪大学）を授与される

昭和四十八年五月 日本哲学会委員

昭和四十八年十月 ドイツ連邦共和国、ハイデルベルク大学で研究

昭和五十一年 四月 大阪大学評議員

昭和五十一年十二月 日本カント協会常任委員

昭和五十五年 二月 学術審議会専門委員

昭和五十九年 二月十九日 逝去（五十七歳）

# 故高橋昭二教授 業績目録

## (著 書)

カントの弁証論	創	文	社	昭和四四年
歴史の哲学(共編著)	北	樹	出	昭和五五年
若きヘーゲルにおける媒介の思想(B)	晃	洋	書	昭和五九年
哲学の諸問題(編著)	晃	洋	書	昭和五九年
カントとヘーゲル	晃	洋	書	昭和五九年

## (論 文)

カントの歴史哲学	哲学研究三七―	九	昭和三〇年
カントの先験的統覚	哲学研究三八―	一一	昭和三一年
カントとベルグソン	勁草書房『ベルグソン研究』		昭和三六年
カントの弁証論	哲学研究四二―	八	昭和三九年

カント批判期前の哲学

大阪大学文学部紀要一四

昭和四三年

伊達先生の哲学

伊達四郎遺作集  
『別離の論理』

昭和四四年

ドイツ観念論の社会哲学

『社会の哲学』

昭和五〇年

若きヘーゲルにおける媒介の思想(1)

哲学論叢 一

昭和五二年

若きヘーゲルにおける媒介の思想(2)

哲学論叢 三

昭和五三年

カントとフィヒテ

『社会思想史(1)』

昭和五三年

若きヘーゲルにおける媒介の思想(3)

哲学論叢 六

昭和五五年

カントの形而上学

理想 五六四

昭和五五年

若きヘーゲルにおける媒介の思想(4)

哲学論叢 八

昭和五六年

知識とドクサ

哲学論叢 九

昭和五七年

若きヘーゲルにおける媒介の思想(5)

哲学論叢 一〇

昭和五七年

若きヘーゲルにおける媒介の思想(6)

哲学論叢 一二

昭和五八年

(その他)

ヘーゲルの愛の弁証法(書評)

『未』 来 六 社

昭和四七年

カント哲学の現代的意義

『未』 来 六 社  
毎日新聞(夕刊)

昭和四九年

河野 真氏「シェリングの哲学」への質問

「哲学」 二五

昭和五〇年

カントの自律の概念をめぐって

カントにおける理性の不安について (書評)

K・レーヴィット  
哲学的人間学の問題によせて (翻訳)

『中央公論』三月  
『世界の名著三九』月報社

講部 恵『カント』月報社

『現代の人間学七』社

昭和五四年

昭和五四年

昭和五四年